

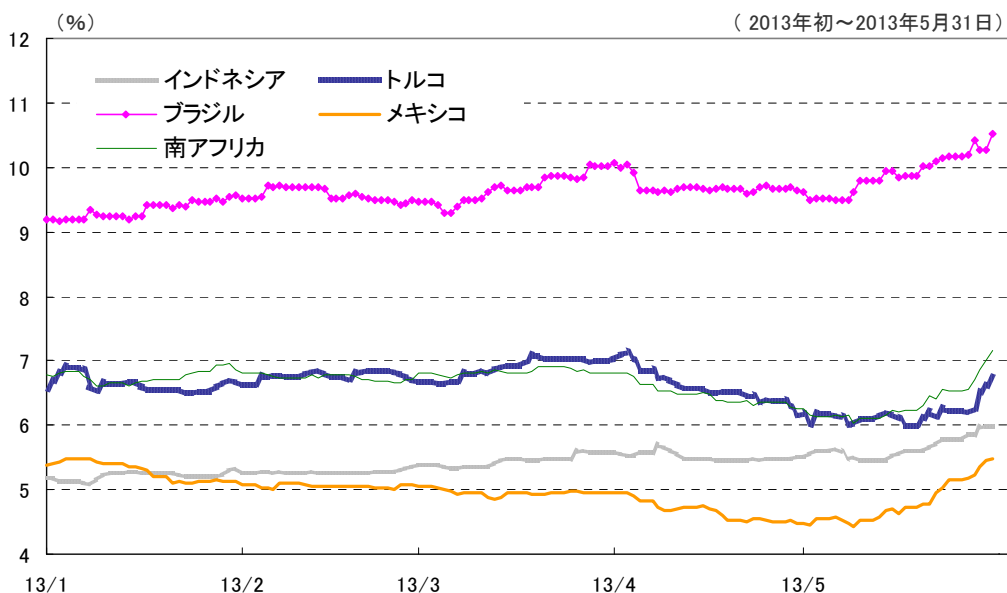
最近の新興国の債券市場について

2013年6月3日

＜足元の新興国金利は上昇＞

足元の新興国各国の国債利回りが上昇しています。ブラジルは金融引き締めサイクルにあるものの、他の新興国では金融緩和的な状況が続いています。またインフレ率、経常収支、財政収支などのファンダメンタルズに著しい懸念が生じた国はなく、新興国の信用力は引き続き良好だと思われます。こうした中での金利上昇の主因は各国国内にはなく、海外にあると思われます。

新興国の10年国債利回りの推移



(出所)ブルームバーグ

＜先進国の経済見通し改善による新興国債券市場への影響＞

サブプライム問題、リーマンショックや欧州債務問題は、先進国にとって大きな痛手となり、各国中央銀行は事実上のゼロ金利政策と量的緩和を長期にわたって強いられることになりました。先進国債券市場の利回りは歴史的低水準へと下落しました。そうした中であって新興国の債券市場は相対的に高い利回りを背景に、グローバルな投資家に魅力的な投資機会を提供してきました。

日本では、安倍政権がデフレ脱却のために、黒田新体制下の日銀とともに大胆な経済・金融政策を運営しています。米国でもこれまで懸案だった労働市場にようやく回復の兆しが強まってきました。経済のファンダメンタルズや見通しの改善を受けて、先進国の投資環境は大きく改善しています。その結果、株価が上昇し、金利も上昇しました。日本では日経平均株価が昨年の安値から一時約90%上昇、国債市場では金利が急騰、米ドル円レートは2009年以来となる1米ドル100円台へ円安が進みました。米国ではダウ平均株価が史上最高値を更新しました。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近の新興国債券利回りの上昇は、先進国の金利上昇により、これまで魅力的とされた新興国の債券に対する評価が修正されたためと思われます。加えて先進国の低金利政策が長期間に及んでいることから、豊富に供給された流動性が新興国の債券市場へも相応に流入してきたと推測され、その巻き戻しによる反動も大きかったと思われます。

<今後の見通し>

今後の新興国の債券市場は、先進国の経済見通しの改善度合いや金融市場動向に左右されやすいと思われ、特に先進国が落ち着かない間は、不安定な動きが続く可能性があります。

ただし、先進国ではデフインフレが続いているため、経済環境が改善してきたとしても本格的な金融引き締めへ転換するのは時期尚早だと思われます。早晩、先進国の債券市場は落ち着きどころを模索する展開へ移行すると想定されます。先進国の債券市場の鎮静化は新興国の債券にとってプラス要因です。

新興国の債券利回りは上昇しましたが、この結果、投資価値が増したとも言えます。また利回りは依然として先進国の債券利回りを大きく上回っていることから、引き続き魅力的な投資対象です。信用力が改善している国もあるなど、市場が安定するにつれて、新興国債券の利回りの高さが再び注目されると思われます。

<代表的な新興国の債券市場見通し>

(インドネシア)

インドネシアでは燃料補助金が削減される期待感があります。実現すればインフレ率は高まりますが、財政収支が改善する見通しです。債券利回りは魅力的な水準にあると思われます。

(トルコ)

トルコでは国内金利水準の高さを好感した資金が海外から流入しています。中央銀行は海外資金流入に歯止めをかけるために断続的に政策金利を引き下げており、5月は利下げ幅が事前予想よりも大きくなりました。また5月には格付会社ムーディーズがトルコの自国通貨建て及び外貨建て格付けを1段階引き上げ、投資適格としました。足元では市場はやや混乱していますが、中長期的には投資魅力のある投資対象と考えます。

(ブラジル)

ブラジルでは景気の緩やかな回復を背景にインフレ懸念が強まっているため、中央銀行は4月から金融引き締め姿勢へ転換し、5月も連続利上げを行いました。残存年限の長い債券の利回りは10%に達しており、投資魅力は高いと思われます。

(メキシコ)

メキシコではペニャ・ニエト政権が進める構造改革が評価されています。5月は格付会社フィッチ・レーティングスが長期自国通貨建て及び長期外貨建て格付けを1段階引き上げました。また米国経済の回復によりメキシコ経済も恩恵を受ける公算です。なお金融政策面では3月に利下げが行われています。物価は総じて安定基調にあり、追加利下げの可能性もあることから利回りが上昇したメキシコ国債は魅力的な水準にあると思われます。

(南アフリカ)

南アフリカでは景気回復がやや遅れています。有力鉱山会社がリストラと減産を発表し、労使対立が強まっていることが懸念材料で、利回りは高水準で推移すると思われます。

以上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等　：大和証券株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会